

玉譜

51

**討論会をしよう** (話すこと・聞くこと)

猪 保 陽 亮 大分大学教育福祉科学部附属小学校教諭

## 1. 新聞活用のねらい

割りばしについて書かれた二つの記事を比べ読むことで、目的に応じて情報を取り出す力や、情報を再構成して意見を述べる力を高めるとともに、環境問題についての関心を高める。

## 2. 指導計画

- ・5年生（討論会をしよう）の一つの例として扱う。
  - ・「割りばしや竹ばし、マイはし」の記事から、自分の考えをもたせる。
  - ・割りばし利用について、賛成か反対かの立場に立ち、意見をまとめ話し合わせる。
  - ・話し合ったことをもとに、自分に何ができるのかまとめさせる。

### 3. おもな学習活動（3～4時間）

おもな学習活動	ね ら い
①新聞記事を拡大したものを紹介し、どんな内容について考えていくのか見通しをもたせ、資料の大まかな内容を知る。	①新聞記事と出合うことで、情報を活用し、自分の考えを深めようとする意欲を高めることができる。
②自分の考えを深めるために、記事から情報を取り出してまとめる。	②割りばし利用について、自分の考えと記事をつなぎながらまとめることができる。
③割りばし利用についての考え方を、取り出した情報をもとにしながら説明し、よりよい利用について話し合う。	③割りばし利用について、自分の考えた立場から考えを話すことができる。
④環境を守っていくためにできることを、話し合ったことや記事をもとにまとめる。	④環境を守るために自分に何ができるのか、話し合ったことと記事をもとにまとめることができる。

#### 4. 評価の観点

- ・新聞記事から、情報を取り出して活用できたか。
  - ・自分の考えをもって、話すことができたか。
  - ・自分の考えと違う考え方を参考にして、考え方を見直すことができたか。

勝木省は二十日、外食産業で大量に廃棄される使用済みの割りばしを、因形燃料などに再利用する事業を支援する方針を固めた。

モデルとなる市町村を決め、割りばしの収集方法を検討し、再利用のための経費などを調べる。モデル地域での実験事業に必要な費用を、来年度予算の概算要求に盛り込む考え方。<sup>10</sup>

来年六月の主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）で地球環境問題が主要議題となることから、同省は焼材や食品廃棄物などを使う「バイオ

再利用燃料へはりば

「アス燃料」の普及を加速する方針。生活に貢献な限りはこれを燃料として再生する新事業で、消費者の資源再利用に対する関心を高める考えだ。

農水省などの試算では、割りばしの国内消費量は年間約エタノール、一人当たり約二百膳とみられる。割りばしを大量に使う外食産業の大半は、そのまま廃棄している。

農水省 モデル地域で実験へ

燃料の原料とするものも研究する。全国の市町村からモアル地域を募り、外食産業のチェーン店や飲食店に回収ボックスを設置。回収業者が木質ペレットやエタノールの製造施設に運ぶ。木質ペレットの加工拠点は全国に約三十カ所、エタノール施設は大阪府と岡山県にある。当面、モアル地域は木質ペレットなどの加工拠点近くの市町村から選ぶ方針。家庭用のごみ置き場やコンビニなどにも回収ボックスを設け、地域住民に参画してもらうことをも懸念している。



國體の「帝王座」にも

袋 もセットで手作り